



# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠  
作成日: 2025/08/18 バージョン: 1.0

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test  
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]  
製品コード : 9960  
Part Number(s) : 9960|700002888

#### 会社情報

Neogen Corporation  
48912  
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place  
T 800.234.5333  
[sds@neogen.com](mailto:sds@neogen.com) - <https://www.neogen.com/>

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:  
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)  
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分 1
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	区分 4
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1

# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

### ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 極めて引火性の高い液体及び蒸気 (H224)  
皮膚に接触すると有害 (H312)  
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 (H314)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)  
容器を密閉しておくこと。(P233)  
容器を接地しアースをとること。(P240)  
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241)  
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)  
静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)  
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

: 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)  
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)  
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。(P303+P361+P353)  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
直ちに医師に連絡すること。(P310)  
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)  
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)  
火災の場合：消火するために...を使用すること。(P370+P378)

保管

: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)  
施錠して保管すること。(P405)

# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。  
(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution	≥ 5 - < 10	(1)-422	既存化学物質	7664-38-2

### 4. 応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
直ちに医師の診察を受ける。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
無理に吐かせてはいけない。  
直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護 : 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合 : 通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 皮膚に接触すると有害。  
火傷。

症状/損傷 眼に入った場合 : 眼に重度の損傷を与える。

症状/損傷 飲み込んだ場合 : 火傷。

#### 医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。

火災危険性 : 極めて引火性の高い液体及び蒸気。

爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。

火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。

# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。  
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。  
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

### 非緊急対応者

- 保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。  
裸火、火花禁止、禁煙。  
皮膚、眼、あるいは衣服との接触を避ける。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

### 緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
- 応急処置 : 不要な職員を退避させる。  
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

### 環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。  
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。  
可能であればリスクなく漏出をせき止める。
- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : データなし

# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。 容器を接地すること/アースをとること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。 防爆型装置を使用する。 個人用保護具を着用する。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
接触回避	: データなし
衛生対策	: 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。
<b>保管</b>	
安全な保管条件	: 換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	: データなし
技術的対策	: 容器を接地すること/アースをとること。
容器包装材料	: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	リン酸 # Phosphoric acid
許容濃度	1 mg/m <sup>3</sup>
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。
<b>保護具</b>	
個人用保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 緑色、灰色
臭い	: 無臭、微臭
pH	: データなし
融点	: データなし

# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 極めて引火性の高い液体及び蒸気
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 1
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 極めて引火性の高い液体及び蒸気。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 皮膚に接触すると有害
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 区分に該当しない(分類対象外) (粉じん、ミスト)

AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test	
ATE JP (経皮)	1071 mg/kg BW
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の 91.49%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている
Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値 (OECD TG 423) として、約 2,000 mg/kg との報告 (SIDS (2011)) に基づき区分 4 とした。なお、ラットの LD50 値として、3,500 mg/kg (85%) (純品換算値 : 2,975 mg/kg)、4,200 mg/kg (80%) (純品換算値 : 3,360 mg/kg)、4,400 mg/kg (75%) (純品換算値 : 3,300 mg/kg) との報告 (SIDS (2011)) (いずれも区分外に相当) があるが、OECD TG 423 のデータを優先して、区分 4 とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギの LD50 値として、1,260 mg/kg (85%) (純品換算値 : 1,071 mg/kg)、3,160 mg/kg (80%) (純品換算値 : 2,528 mg/kg)、3,160 mg/kg (75%) (純品換算値 : 2,370 mg/kg) との報告 (SIDS (2011)) に基づき、区分 4 とした。

# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラットの LC50 値 (1 時間) として、3,846 mg/m <sup>3</sup> (4 時間換算値 : 0.9615 mg/L) との報告 (SIDS (2011)) に基づき、区分 3 とした。なお、LC50 値が飽和蒸気圧濃度 (0.158.2 mg/L) より高いため、粉じんの基準値を適用した。優先度の高い新たな情報源 (SIDS (2011)) を追加し、区分を見直した。
LD50 経口 ラット	1530 mg/kg
LD50 経口	2000 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	2000 mg/kg
LD50 経皮	1071 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	0.9615 mg/l/4h

皮膚腐食性／刺激性 : 重篤な皮膚の薬傷

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギに本物質の 85%溶液を適用した結果、4 時間以内に腐食性がみられたとの報告がある (SIDS (2011))。一方で、75%溶液を 4 時間半閉塞適用した結果、腐食性はみられなかったとの報告がある (SIDS (2011))。また、詳細は不明であるが、75%溶液は皮膚に激しい薬傷を引き起こすとの記載がある (産衛学会許容濃度の提案理由書 (1990))。本物質は強酸性を示し、EPA Pesticide により刺激性 I、EU DSD 分類で「C; R34」、EU CLP 分類で「Skin Corr. 1B H314」に分類されている。以上の結果から区分 1 とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 重篤な眼の損傷

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギの眼に本物質 (75-85%) を適用した結果、腐食性がみられたとの結果がある (SIDS (2011))。また、本物質は皮膚腐食性/刺激性で区分 1 に分類されている。以上の結果より、区分 1 とした。

呼吸器感作性 : 分類できない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。In vivo データはなく、in vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性である (SIDS (2011))。

発がん性 : 分類できない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
発がん性	データ不足のため分類できない。

# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

生殖毒性 : 分類できない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
生殖毒性	ラットを用いた経口経路 (強制) での反復投与毒性・生殖毒性併合試験 (OECD TG 422) において、親動物毒性 (雌で 2/13 例死亡) がみられる用量においても生殖毒性、発生毒性はみられていないとの報告がある (SIDS (2011))。しかし、スクリーニング試験であること、催奇形性に関する情報が不足していることから分類できないとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	本物質はヒト及び実験動物に気道刺激性がある (産衛学会許容濃度の提案理由書 (1990)、SIDS (2011)、ACGIH (7th, 2001)、EPA Pesticide (1993))。ヒトの事例は複数あるが、吸入では重度のばく露で嘔声、呼吸困難、喘鳴(喉頭浮腫による)、最も深刻なケースでは非心原性肺水腫を引き起こす場合がある。経口摂取で悪心、嘔吐、腹痛、出血性下痢、食道、胃の刺激あるいは火傷が報告されている (HSDB (Access on September 2014)、UKPID MONOGRAPH (1998))。以上より、区分 1(呼吸器) とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトでの有害性知見はない。実験動物ではラットに本物質を強制経口投与 (雄:42 日間、雌:40-52 日間) した反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験において、250 mg/kg/day (90 日換算: 約 117 mg/kg/day (区分外)) まで無毒性であり、500 mg/kg/day で死亡例がみられたものの、標的臓器は不明であった (SIDS (2011))。よって、経口経路では区分外相当であるが、他の経路での毒性情報がなく、データ不足のため分類できない。
NOAEL (経口、ラット、28 日)	250 mg/kg bw/day
NOAEL (経口、ラット、90 日)	338 mg/kg bw/day

誤えん有害性 : 分類できない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
動粘性率	18.4 mm <sup>2</sup> /s

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般 : 中和していない場合、水生生物に有害であることがある。  
水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない  
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (メダカ) の 96 時間 LC50 = 75.1 mg/L (pH 調整なし) (SIDS, 2011) から、区分 3 とした。

# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
水生環境有害性 長期 (慢性)	信頼性のある慢性毒性データが得られていない。無機化合物であり、環境中の動態に関する適切なデータは得られていないが、pH 調整された場合の甲殻類 (オオミジンコ) の急性遊泳阻害試験においては、48 時間 EC50 > 376 mg/L (SIDS 2011) であること、また、りん酸は環境中に普遍的に存在し、生物の必須栄養素であることから慢性分類を区分外とすることは妥当であるとの専門家判断より区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	75.1 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	> 376 mg/l
EC50 72h - 藻類 [1]	77.9 mg/l
NOEC 魚 慢性	40 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	1.02 mg/l

### 残留性・分解性

AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test	
残留性・分解性	急速分解性でない

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable。

### 生体蓄積性

AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test	
生体蓄積性	データなし

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
生体蓄積性	No test data of component(s) available。

### 土壌中の移動性

AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test	
土壌中の移動性	データなし

Phosphoric acid, conc=75%, aqueous solution (7664-38-2)	
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil。

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

### その他の有害な影響

## 13. 廃棄上の注意

- 推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
- 廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
- 地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
- 推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

# 安全データシート

## AccuClean® Advanced Rapid Protein Residue Test

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

追加情報

: 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。  
空の容器を再利用しない。

### 14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGIに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	1805
国連正式品名	リン酸（水溶液）
輸送危険物分類	8
	
容器等級	III
環境有害性	環境有害性：非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報

: 補足情報なし

### 15. 適用法令

国内法令

データなし

### 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。